

壓迫、干渉で多数を得た既成政黨に依り内閣を組織されたる事が情勢の根源である。其の政黨の手に依つて大正十一年十四年に師團を減じ、ロンドン條約では五、五、三の比率に調印した、この統帥權の干犯に陸海軍青年將校は憤慨して五、一五事件が起つたのである。

軍備の充實なくして來るべき國難を突破することは出來ない政黨本位の政治は斷じて許さぬのが吾々の信念である、諸君がこの五、一五事件の眞意を汲んで立ち上つて呉るれば腐敗しい。支那が國防を充實し、ロシアは五ヶ年計劃に依る軍備を擴張し、英米と共同して日本に當る、この大國難を突破する處に洋々たる海上あり、共產主義を排撃して大和魂に立ちかへり愛國の熱情迸はしるところに敵はない。

今や日本國民は滿洲國を育成し東洋平和永遠の基礎を開拓す

る重大使命を認識し我が明倫主義に依り國難打開に邁進せよ

六、祝電披露

明倫會本部

明倫會神戸支部

七、聖壽萬歳 三唱

八、閉會